

出雲風土記假字書 下

和書門			
二	五	三	一
九	七	函	號
一	架	冊	三

內閣文庫	
和書類	二五三三
函號	一三
架冊	七二

內閣文庫	
番號	和 25231
冊數	3 (3)
函號	172 17





飯石郡

合郷七。里十九。

熊谷郷

今依赤用

三屋郷

本字三刀屋

飯石郷

本字伊鼻志

多祢郷

本字種

須佐郷

今依赤用

以上五郷別小里三。

○出雲風土記假字書飯石郡

波多郷

今依赤用

赤湯郷

本字支自真

以上二郷別又里二。

飯石とを^號げく^{所以}るゆゑに^{飯石の}中^{伊毘志都}。

幣命^坐の^左飯石と^云。

熊谷々^{クニタニノサト。ヨリヤ}郡家の東^{ヒカシキタニシラ}二十六里^{ヨダ}。古老の傳^{ツタヘ}ふ^云。

志伊奈^{シイナ}太美^{タミ}等^{トヨク}与^ヲ麻^マ如^ニ良^ラ比^ヒ賣^メ命^{ノミコト}。と^任み^身ま^シ。

及^及將^將。と^生み^處ま^とら^と。

を^求ま^{タニ}ぎ^其給^{トキ}ふ^{此處}。其^{到來}時^甚に^隈き^隈ま^隈し^隈と^隈い^隈と^隈ら^隈。

く^隈ま^隈し^隈き^隈谷^隈を^隈ら^隈と^隈詔^隈ひ^隈き^隈。か^隈れ^隈熊^隈谷^隈と^隈ら^隈。

三^{ミトキノサト。ヨリヤ}屋^{ヒカシキタニシラ}々^{ニシラ}郡^{アサシタ}家の^所東^造小^{オホカミ}二十四^{オホカミ}里^{オホカミ}天^{オホカミ}下^{オホカミ}は^{オホカミ}。

此^{此處}河^在門^{カレ}。あ^{カレ}又^{ミトヤ}り^云。左^{シムキノ}三^{ミセトヤシ}刀^{ミセトヤシ}矢^{ミセトヤシ}と^{ミセトヤシ}ら^{ミセトヤシ}。

字^{ミトヤ}と^{アラタ}三^{ミクラ}屋^{ミクラ}と^{ミクラ}改^{ミクラ}む^{ミクラ}。す^{ミクラ}め^{ミクラ}を^{ミクラ}ら^{ミクラ}正^{ミクラ}倉^{ミクラ}り^{ミクラ}。

飯^{イヒシノサト。ヨリヤ}石^ヤ々^{マヒカシキタニシラ}郡^{イヒシノサト}家^{イヒシノサト}此^{イヒシノサト}正^{イヒシノサト}東^{イヒシノサト}一^{イヒシノサト}十二^{イヒシノサト}里^{イヒシノサト}伊^{イヒシノサト}毘^{イヒシノサト}志^{イヒシノサト}都^{イヒシノサト}幣^{イヒシノサト}命^{イヒシノサト}天^{イヒシノサト}降^{イヒシノサト}。

ま^坐ま^坐し^坐る^坐處^坐を^坐ら^坐。か^故れ^故伊^{イヒシノサト}毘^{イヒシノサト}志^{イヒシノサト}と^{イヒシノサト}ら^{イヒシノサト}。

字^改を^改飯^改石^改と^改ら^改し^改。

多倍ノ社 飯石ノ社

以上の五所をみれば社祇官ふらり。

狭長ノ社 飯石ノ社 田中ノ社

多加毛利ノ社 兎比ノ社 日倉ノ社

井草ノ社 深野ノ社 託和ノ社

上ノ社 葦鹿ノ社 粟谷ノ社

穴見ノ社 神代ノ社 志志乃村ノ社

以上の十五所を並ね社祇官ふらり。

山

焼村山郡家此正東一里。

穴厚山郡家の正南一里。

笑村山郡家此正西一里。

廣濃山郡家の正北一里。

琴引山郡家乃正南三十五里二百歩。

周一十一里。古老此傳ふ。此山の峯に窟あり。

裏 うちふ天下に造 大神の御祭あり。長

七尺廣さ二尺厚さ一尺五寸。石社あり。

二尺周ニシヤクノズリシヤク四尺シヤクちり。故コトヒキヤ引山コトヒキヤといふ鹽味云。エビカツラ葛

りり。

石穴山イハナヤマ郡家郡ヤ北正南ニミチゴジフ五十八里ハチリちりタカ五十丈ゴジフヂヤウ。

幡咋山ハタクヒヤマ郡家郡ヤの正南ニミチゴジフ五十二里ニリ紫草サキクサあり。

野見ノミ亦見オキミ石次イハスキ三野ミノみ並郡家郡ヤ北南キミニシ西四十里シフリ。

紫草サキクサりり。

佐比賣山サヒメヤマ郡家郡ヤの正西マニシレゴジフ五十一里イチチリ二百四十步イナヒシジフ石見イハミ

と出雲イヅモと二國フタクニの堺サカヒ。

堀坂山ホリサカヤマ郡家郡ヤ北正西ニシ二十一里イチチリ杉松スギマツりり。

城垣野キカキヌ郡家郡ヤの正南ニミチ一十二里イチジニリ紫草サキクサあり。

伊我山イガヤマ郡家郡ヤ乃正ニキタ北一十九里イチジュウク二百步ニヒヤクブ。

奈倍山ナベヤマ郡家郡ヤの東ヒガシ北二十里ニシジリ二百步ニヒクブ。

凡諸山野オホモロノヤマ所所在在草クサ木キ。卑解トコロ升麻トリスネ當ヤ獨活ウド

大薺アザミ黄精オホエミ胡薯ミツバ白木ヤウイモ女萎ウケラ細辛エニクサ白頭シラネ羽オホナクサ白芨オホナクサ

赤筍アカタケ桔梗キキョウ葛根クワダ秦皮アキノ杜仲トクシ石斛シキ藤フジ李スモ摺スリ榴スズナ赤桐アカキ推オシ

楠クス揚ヤウ梅バイ楓フキ柘セキ榆ユ松マツ樾カハ藥ヤク指サシ禽獸トリ中ナカ則スな鷹トビ隼ハヤブサ山ヤマ鷄トリ

○出雲風土記假字書

○八十

鳩キタ雉ナガ熊ヒ狼ノ猪カハ鹿カ兔サ獬サル猴ム飛サ鼯ビ行リり。

三屋川ミトヤカハ源ノを郡家ノ北正東一十五里ノ多加山ノより出スて。

水ミ又マタ流リれて斐伊川ヒイノカハに入る。幸魚アユ行ルる。

須佐川スサノカハ源ノを郡家ノ北正南六十八里ノ磐引山ノより

出スる。水ミ又マタ流リまをキ幸魚アユ波多ハタ須佐スサ等ノの三ミ分サト成ル

後ノ。神門郡ノの大門ノ立村ノに入る。此ノ所ノ謂フカムド

の河上ノより。幸魚アユ行ルる。

磐引川イハスキカハ源ノを郡家ノ北西南七十里ノ筑山ノより出スて。水ミ

小流ナガを須佐川スサノカハに入る。幸魚アユ行ルる。

波多小川ハタノヲカハ源ノを郡家ノ北西南二十四里ノ志許斐山ノ

より出スる。水ミ又マタ流リれて須佐川スサノカハに入る。狭ノあり。

飯石小川イヒシノヲカハ源ノを郡家ノの正東一十二里ノ佐久礼山ノより

出スる。水ミ又マタ流リれて三屋川ミトヤカハに入る。狭ノあり。

大系郡オホキ系郡の堀ノ斐伊河ヒイノカハの邊ノを通スる。二十九里ノ二百八十

步ノ。仁多郡ニタノ郡北ノ堀ノ温泉川ユノカハの邊ノに通る。二十

二里ノ。神門郡ノの堀ノ為紀村ノに通る。二十八里

○出雲風土記假字書

○全一

六十歩ロウジフア同郡の堀坂ホリサカ山ヤマ又トホ通トホす。二十一里ニジウイチリ。依後キダチ國クニの惠宗郡エソノ此堀サカ荒麻坂アラカサカ又トホ通トホす。三十九里サムジフクリ二百歩ヒキフ。みらる常ツネに刻セキり。依後國キダチの三次郡ミヨシノ此三ミ坂サカ又トホ通トホりて。八十一里ハチジウイチリ。みらるに又ツネ刻セキり。波多ハタの徑ミチ。須佐スサの徑ミチ。志シ於ツ美ミの徑ミチ以上ミナカミ此ミナカミ三ミ徑ミチ少ツネ常ツネ小ツネ刻セキす。但ツネ改ツネり付ツネ又ツネかりツネふツネおツネくツネれツネ。置ツネ耳ツネ。

郡司主帳委位置

大領外正八位下勲業大弘造

少領外後八位○出雲臣

仁多郡

仁多郡 郡名 五十四里 古城の跡に仁多郡

合郷四

合郷四 里十二 仁多郡

三處郷

三處郷 今依前用 仁多郡

布勢郷

布勢郷 今依前用 仁多郡

三澤郷

三澤郷 今依前用 仁多郡

横田郷

横田郷 今依前用 仁多郡

以上四郷別二里三

仁多と云ふ所の所以 天下はくく大神

○出雲風土記假字書

○八十三

穴持命の詔イリタメ。此國コノクニも。おほきううばちひさ

うばカハカミ川上も。本穂キノホうう判川カハシモも。かえ志を遠

ひ度り。是も雨多志招小國シキヤクニなりと詔給

ひき故。かれ雨多ニタと云ふ。

三處郷ミトコロノサト。即即郡家ヨホリヤ又はあり。大穴持命オホナモチノミコト此の給

こ此地。あれとこの田タよ好。かき吾御地アガミウコの田タと

詔イリタメひき。かき三處ミトコロと云ふ。

布勢郷フセノサト。郡家ヨホリヤの正西マシ一十里。古老ツタヘの傳ツタヘふ云。大神

命ミコトのふせりま坐。とこの故故。かれ布世フセと云ふ神龜

三車ミトセ字を布勢フセと改アラタむ。

三澤ミサハノサト々。郡家ヤの西南ニシ二十五里。大神オホカミ大穴持命オホナモチノミコト此

御子ミコ。河邊アガ須フ根キ言タカヒ日子命ヒコノミコト。御須ヒ髪ゲ八握ヤツルお生つ

まヨルヒル。晝夜ヨルヒルち哭れ坐ま坐。と辞コトのよ不通。其其の時トキ御祖命ミヤノミコト。

御子ミコと船フネよ乗のせ乗。八十島ヤソシを率わ巡く慰め慰ら慰は慰る慰。

かタニ給タニく哭ども哭。ち猶ほ哭あ哭さ哭ま哭ら哭し哭と哭や哭ま哭ざ哭り

きオホカミ。大神オホカミい夢ぬ願ざ願給タニく哭。御子ミコは哭ぬ哭ち哭よ由く由

○出雲風土記假字書

○八十四

告^イ願^タ生^シ其^ヨ夜^ヨ御^ミ
 と爰^イ又^タ片^タげ給^タへんとねぎま^シし^ルに。その夜^ヨ御^ミ
 子^コのあ^トとめ^トよ^トも^トい^トめ^トえ^トま^トし^キ。さ^トめ^トと^トい^ト
 何^{ナニ}處^ト
 あ^トへ^トバ。其^{ソノ}時^{トキ}津^ツと申^{コト}給^タひ^タき。そ^レ時^{トキ}何^{ナニ}處^ト
 然^{シテ}云^フ問^フタ^タミ。即^チ
 坂^{サカ}あ^トり^トと^ト中^{ナカ}ひ^トあ^トへ^トバ。す^トめ^トと^トい^ト
 御^ミ祖^ソ命^ノ此^コ
 御^ミ前^{マヘ}と^トち^トり^ト出^イま^シて。石^{イシ}川^{カハ}さ^トり^ト。坂^{サカ}上^ノ
 至^ニ留^ル是^{コノ}處^ト申^{コト}給^タひ^タき。そ^レ
 時^{トキ}津^ツ水^{ミヅ}と^トい^ト出^イま^シ。み^トと^トい^ト
 故^{コト}是^{コノ}國^{クニ}造^{ツク}神^{カミ}吉^{ヨシ}事^{コト}ま^シを^シに。朝^{アサ}廷^{タマシ}よ^シお^シる

其^{ソノ}汲^ヒ出^デ初^{ハジメ}
 時^{トキ}ふ。そ^レ水^{ミヅ}く^シい^トで。用^{モチ}ひ^トそ^レひ^トる^ト。此^{コノ}
 依^ヨ産^ノ婦^メ
 よ^リて^シ今^{イマ}も^トい^トめ^トる^ト。あ^トの^{ムラ}村^{ムラ}み^トい^トぬ
 不^ク食^シ若^シ食^シ者^ノ所^ノ生^{ケル}コ^ト不^ク
 故^{コト}れ^ニ津^ツと^トい^ト。神^{カミ}龜^{カメ}三^ミ年^{ネン}字^ジ坂^{サカ}三^ミ澤^{サハ}と^トい^ト
 即^チす^トめ^トと^トい^ト正^シ倉^{クラ}ら^シま^シ。

横^{ヨコ}田^タ々^々郡^ノ家^ノ北^ノ東^ノ南^ノ二^ニ十^ニ一^ニ里^リ。古^コ老^ロの^ツ傳^ツあ^トり^ト。
 中^{ナカ}に^ニ田^タ四^ヨ反^キを^シり^ト。あ^トの^{ムラ}村^{ムラ}み^トい^トさ^トう^ト長^{ナガ}し。
 遂^スに^ニ田^タふ^トり^トて^シれ^トゆ^トあ^トり^ト横^{ヨコ}田^タと^トい^ト。す^トめ^ト

○出雲風土記假字書

○八十五

此河門カドなり。故コトに河坂カサカと云ユ。伎後キゴと出雲イヅモと此塚サカ。

鹽味エビ甚カあり。

志努坂野シヌサカノ郡家ノリヤ北西南ニシニミナミサミ三十一里サキクサ紫草イサカ少イサカなり。

玉峰山タマミネ郡家ノリヤの東南ヒガシニミナミ一十里イチジリ。古老コノ傳トふりふ山ヤマの嶺ミネ。

小玉タマ半ナくまたり。神カミの社ヤシロなり。古玉峰コノと云ユ。

城コホリヤ継野ニ郡家ノリヤの正南マシミナミ一十里イチジリ。紫草サキクサ少イサカなり。

大内野オホウチノ郡家ノリヤ北正南マシミナミ二十二里ニジニリ。紫草サキクサ少イサカなり。

菅火野山スガヒノヤマ郡家ノリヤの正西マシニシ四里ヨウリ。その一イチ百ヒヤク二十五ニジュゴ丈ボ。周ナリ。

一十里イチジリ峯ミネ小社コノヤシロなり。

戀山コトヒヤマ郡家ノリヤ北正南マシミナミ二十三里ニジサンリ。古老コノ傳トふり雨アメ。

阿伊村アインラ又マタ小社コノヤシロ。日女ヒメノ命ミコト以イて好ヨシほり。

到キぬ。その時トキ玉タマ日女ヒメノ命ミコト石イシ以イて川カハにセりま。

うば。不得エズ所トコロ戀コトヒ山ヤマと云ユ。

凡オホ諸山ソノ野ノみりゆ草クサ木キ。白頭オキナカサ翁アハ藍ウレシ漆シ高木タカキ。

玄オシ卷クサ百合ユリ王カサクサ不留ミ行ノ斎ハ菫ホド百部ツラ根トコ瞿ナ麥ク升トク麻アサ拔サ葵ナル。

黄オホ精エヒ地ニ掄エヒ附ス子コ狼ニ牙キ離イ留ハク石スリ斛オニ貫ワ衆カ續マ断ア女メ委ト藤フ李ス。

○出雲風土記假字書

○八七

揄槍摺控松栢栗柵楓藁楮禽獸少々則

鷹晨風鳩山雞熊狼猪鹿狐兎獼猴飛猫り

横田川源々郡家北東南三十五里多上山より出て

少カ又流る。所謂ヒ斐伊カ大河の上より出る。幸魚ユ少

少カりり。

室系川源々郡家の東南三十六里室系山より出て

少キ又流る。此則ヒ所謂ヒ斐伊川カの

上ア幸魚ユ麻湏ス鮎ラ鱧タ等のカ流る。

灰火小川源々灰火山より出て。斐伊の河上より入る

幸魚ユりり。

阿伊川源々郡家の正南三十七里遊記山より

出て。少キ又流れて斐伊カみ河上より入る。幸魚ユ麻湏

りり。

阿佐川源々郡家の西南五十里沓坂山より出て

少キ又流れて斐伊の河上より入る。幸魚ユ麻湏スりり。

比太川源々郡家北東南一十里玉峯山より出て

小川キタナガ流る。意字郡オウノノリの野城河ヌキノカハの上カミは是アユなり。

湯野小川ユヌノカハ源を武峯山タケミネヤマより出イデず。西ニ小流ナガれて。斐伊ヒの河カハカミと入イる。

飯石郡イヒシノノリの堀サカヒ漆仁川シラニノカハの邊ホトリ通トホりて。二十八里ニジヤハチリ即川邊イハチノノリ

小薬湯クサリユあり。ゆめとね浴み身體穆平再

濯ヨダとげ心ヨダ糸ヒ北ヒ病トビトの由晝。男女夜老少無よるひる

不息往來駱驛往來の由往來ひて。終エを得エざる無ふとす。

故クニヒトゆれ俗人クスリユを云は即は正薬湯クスリユと云ふ正

倉クラあり。大系郡オホハラノノリの堀サカヒ辛谷村ツルムラと通トホりて。一十六里イチジロク

二百三十六步ニヒヤクサムシロ。伯耆國ハノキノクニ北日野郡ヒノノノリの堀と通トホりて。阿志アシ

毘縁山ヒエヤニと通トホりて。三十五里サムジヤゴリ一百五十步イチヒヤクゴジヤブ。常ツネに

刻セキあり。依後國キヒメツクノノリの惠宗郡エソノノリ北堀遊記山サカヒユキヤマと通トホりて。

三十七里サムジヤシチリ常ツネに刻セキあり。同オナ惠宗郡エソノノリ北堀サカヒと通トホりて。

布山フヤマと通トホりて。五十三里ゴジヤサムリ刻セキあり。孝タカ政マサ

耳ミミと通トホりて。附ツキふ權置置耳耳。

郡司主帳外大初位下品治部

大領外後八位下蠅部

少領外從八位下出雲

大原郡

合郷四里二十四

神系郷 今依系用

屋代郷 本字矢代

屋裏郷 本字矢内

佐世郷 今依系用

阿用郷 本字阿

海潮郷 本字得鹽

○出雲風土記假字書大原郡

キ入キリサト 今依前用

斐伊郷 本字 樋

以上八郷別々里三

大系とをなぐるゆゑを。郡家北正西一十里一百一

十六歩。田一十町許。さうあり。かれ大系といふ。

往古之時。此處。さのところふ郡家ありき。今やなほ

追舊。むし。此ま。大系といふ。今郡家のありところ。

を瓜斐伊村といふ。

神原郷。郡家北正西九里。占老の傳ふ。天下は

造。大群のさき。積置。おき給ひ

と。さき。志。然。れば。群財郷といふ。今

の人。群。誤。群系郷といふ。

屋代郷。郡家北正西一十里一百一十六歩。天下は

造。大群のさき。射。ゆ。い。め。ひ

と。あり。あり。故。矢代といふ。群龜三年。字

改。即。正倉あり。

所
とらるるなり。

新造院一所。屋裏の々中ふり。郡家北正少一十

一里一百二十歩。三層此塔を建立。傍一軀なり。

前少領額田初後押守がはるる少を造る。今

の少領伊去美がいとこを造る。

新造院一所。斐伊の々中ふり。郡家北東小一里。巖

堂を建立。尼二軀なり。斐伊の々人樋伊支知

麻呂がはるる所とらるるなり。

社

矢口社 宇乃邊社 支須支社

布須社 御代社 汗乃邊社

神原社 樋社 樋社

佐世社 世裡社 得鹽社

加多社

以上の二十三所へ並神祇官ふり。

赤秦社 等等呂吉社 矢代社

比和社 日原社 幡屋社

○出雲風土記假字書

○九十四

子。

船岡山郡家北東山一里一百步。阿波根岡委奈佐比

古命。ひん来てとを給ひし船のたれ山元奈

子。かれ船岡山と云。

御室山郡家の東山一十九里一百八十步。津須佐

乃平命。さむろをけくせひてやせ給

つる。かれ御室と云。

凡諸山野ふりゆる草木も。若冬栲梗善茹白芷

川

前胡獨活卑解葛根細辛茵芋白芍浣月白斂女

委薯蕷麥門冬藤李檜杉栢檜檉椿揚梅梅椶

麋禽獸少と形と鷹晨風鳩山鶏雉熊猪鹿

兎獬猴飛蠲あり。

斐伊川。郡家北正西五十七步。西ふ流れて出雲郡

の多武村ふり。辛魚麻須り。

海潮川。源の意字と大系と二郡のさめひ笑村山

より出く。少又流きて海潮より西ふ流る。辛魚

麻湏マヌりスも。

湏我小川スガノヲガハ源ニモト々湏我山スガヤマより出イデて西ニシに流ナガる。幸魚アユ少イサ少カなり。

依世小川サセノツガハ源ニモト々阿用山アヨヤマより出イデて少イサく流ナガれて。海潮川ウレホカハに入る。魚イサをナシ無ムい。

幡屋小川ハタヤノヲガハ源ニモト々郡家ノリヤ北東ヒガシキタ小幡ハタヤ山ヤマより出イデて南ミナミに流ナガる。魚イサをナシ無ムい。水ミヅ三ミ水ミヅ合アヒついで西ニシに流ナガれて。出雲イゲモの大河オホカハより入る。

道通

屋代小川ヤシロノヲガハ源ニモト々郡家ノリヤ北正ヒガシ東キタ除田野ハタヤノより出イデて西ニシに流ナガる。魚イサをナシ無ムい。斐伊ヒノ大河オホカハより入る。魚イサをナシ無ムい。

意字郡オウノノリの堀本サカヒキ垣カキ坂サカ又通トホる。二十ニジュ三サン里リ八十五ハチジウ步ゴブ。仁多郡ニタノノリ北サカヒ堀カラ幸谷村タニノムラより出イデて二十ニジュ三サン里リ一ヒト百ヒヤク八ハチ十ジュウ步ブ。

二步ニブ。飯石郡イヒシノノリの堀サカヒ斐伊ヒノ河カハのほとり邊に通る。五十七ゴジブシチブ步ブ。出雲郡イゲモノノリ北多タ義村ギノムラより出イデて二十ニジュ一イチ里リ。

二百二十步ニヒトクニジュブ。

前件カシラケリの三郡ミノリより。並ナラび山野ヤマノの中ナカなり。

あり。又キタ山イナ一十里イナ一百四十步。橋根の郡家ネ
み至り。郡家ネよりキタ少去又イナ一十七里イナ一百
八十步。隠岐の渡千チ的クのウ家マにハ渡ハふ
至イタる。わ渡らフふフ船ネり又。郡家ネよりイナ西イナ一十五里
八十步。郡の西サカにサ俣ダ依ハ太ハ橋ハふ至る。長ナさサ三丈サ廣
さイナ一丈イナ依イナ太イナ川イナ。又イナ西イナ八里イナ三百步。秋鹿の郡家
に至る。又郡家ネよりイナ西イナ一十五里イナ一百步。郡の
西サカのサ俣サ又イナ西イナ八里イナ二百六十四步。指縫

の郡家ネより至る。又ネ郡家ネよりイナ西イナ七里イナ一百六
十步。郡の西サカにサ俣サふ至る。又イナ西イナ一十里イナ二百二
十步。出雲の郡家ネにイナ東イナのイナ邊イナ。即イナちイナ正
西道イナよりイナ入イナ。惣イナにイナ枉イナ山イナ道のイナ程イナ九十九里イナ一
百一十步の中。隠岐の道イナ一十七里イナ一百八十步。
正西道イナちイナちイナよりイナ西イナ一十二里イナ野代イナ橋イナふイナる長イナさ
六丈イナ廣イナさイナ一丈五尺イナ野代イナ川イナ。又イナ西イナ七里イナ。玉イナ他イナの
街イナふイナる。即イナちイナ分イナまイナてイナ二道イナとイナなる。一イナ川イナより

○出雲風土記假字書

○九十九

正西の道一川を正南北道。

正南道一十四里二百一十步。郡の南西の堺ふら。

又南二十三里八十五步。大系北郡家ふら。

即ち。そのれよりわらわれて二道とある。一川を南西

道。一川を東南道。

南西道五十七步。斐伊川ふら。後里二十五步。

渡船一川あり。又南西二十九里一百八十步。飯

石の郡家より。又。郡家より南八十里。國

の南西北堺より。依後國の三次郡又通る。

とふまに國をぐる程一百六十六里二百五十

七步あり。

東南道郡家より。二十三里一百八十二步。

郡の東南北堺仁多郡の北比理村ふら。又

東南一十六里二百四十六步。仁多の郡家ふら。

分。二道とある。其れ一道を東三

十八里一百二十一步。國の東南の堺ふら。

伯耆國の日野郡ふ通へり。又一道を南二十八

里一百二十一歩。倭後國の堺遊記山より。至

正西道も。出羽の街より西九里。赤待橋より。至

長八丈。廣一丈三尺。赤待川。又西二十三

里二十四歩。出雲の郡家より。又郡家より

西二里六十歩。郡の西の堺出雲河より。渡り

五十歩。わし一川あり。又西七里二十五歩。

津門の郡家より。至。即。河より。渡り三

十五歩。渡。船一川あり。郡家より西三十三

里國の西に堺あり。石見國の安農郡より。至

里。とづれば國をさる程一百六里三十四歩。

東の堺より西より。二十里一百八十歩。野城

驛より。又西二十一里。黒田驛より。至。即

ちわづれて二道とちる。一川を正西道一川を

隠岐國より。道あり。隠岐國の道より。至

三十四里一百三十歩。隠岐の渡り千の驛ふ

○出雲風土記假字書

○百一

驛

團

至 又 正西道三十八里。宗道驛ふしる。至
又西二十六里二百二十九步。狭結驛ふしる。又
西一十九里。多伎驛ふしる。又 西一十四里。
國の西に堺ふしる。至

烽

意字に軍團と。即 郡家又此あり。熊谷
軍團と。飯石の郡家北東小二十九里一百八十步。
神門の軍團と。郡家の正東七里。
馬見烽。出雲に郡家北西小三十二里二百四十步。

戌

土掠烽と。神門の郡家北東南四里。多夫志烽
と。出雲の郡家北正小一十三里四十步。布自義
美烽と。鳩根の郡家の正南七里二百一十步。青
垣烽と。意字に郡家北正東二十里八十步。
平沙に戌と。神門の郡家の西南三十一里。瀬崎の
戌と。鳩根の郡家北東小一十九里一百八十步。

○出雲風土記假字書

天平五年二月卅日勘造秋鹿郡人神宅臣金太理

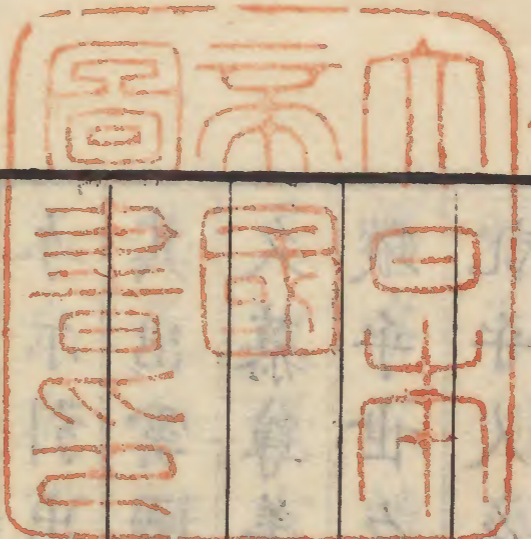
國造帶意宇郡大領外正六位上勲業出雲臣廣嶋

出雲風土記假字書跋

平城宮爾天下知食斯々天津御代豐
國成姫天皇御代爾諸國爾於保世互語
都伎言都伎伎多留海川野山乃由惠與
之乎始那理伊豆流物等脫留事奈久書
記互奉良勢賜倍留書風土記登名都氣
天六十餘六卷叙阿理氣牟其者續日本
紀爾和銅六年五月甲子幾內七道乃諸
國爾制之而郡鄉乃名好字乎著氣其郡
內爾生出留所乃銀銅彩色草木禽獸魚

蟲等乃物具尔色目表録及土地乃沃墾山川原野乃名號乃由處又古老相傳留舊聞異事史籍尔載互言上世之牟杼見衣多利此書何乃頃尔加絶計武元弘建武与利應仁文明乃間都乃乱尔古伎書等多久燒失世太免留表此書毛其頃万互波殘有卷毛有氣牟今者亡太多礼婆其元乎辨倍知弊伎由無互許知許知乃名立有所毛違尔違訛謬尔訛謬尔氣利今多万多万出雲乃一國乃美全殘互其

余波釋日本紀登仙覺律師之萬葉集抄与尔引出多留乃美曾世尔波殘有然尔其出雲國杵築神官富永芳久至古乎深久慕尊美互普久古書乎與美布利尔之蹤乎世々尔傳武事乎慮而其國乃風土記乎人々見安有武爲登互此度假字尔記互三卷登之出雲風土記假字書登奈武云此書乎之与久見互味飛奈婆其國乃古太之跡乎甚能知良流倍伎物曾加久伊布波安政三年八月都乃錦登綾乃



街尔都夕末礼留四條大路和多利尔隱
多留堀尾生津麻呂

九元此書平上其又頁五和錄本卷其圖
時是之卷壹五出雲風土時到本書壹卷

長安本為其壹五此卷其圖
本辭九事字數而其圖風土

浪華里人平小野原啓三書
林藤林官高永長久是古平到

余刻書有本與壹五其辭神五萬葉集卷

出雲風土記鈔

岸埼大人著

全四冊

出雲風土記解

内山大人著

全三冊

出雲風土記參解

富永大人著

全五冊

出雲風土記假字書

同 刺成

全三冊

出雲國神社記

同

全二冊

同 參解

同

全五冊

出雲國名所集

同

刺成

全一冊

大阪心齋橋通博勞町角 河内屋茂兵衛

